

少林寺拳法宮之城支部の拳士
空き缶拾いなど清掃活動

1月14日、少林寺拳法宮之城支部の拳士が、さつま警察署周辺で空き缶拾いを行いました。

これは、子ども達の健全育成を目的に同支部の初稽古の後の行われたもので、道路わきや空き地などに落ちていた空き缶を全部で101個拾い集めました。

その後、子ども達は、保護者が準備したぜんざいと揚げ餅をおいしそうに食べていました。



空き缶拾いを行った少林寺拳法宮之城支部の拳士



井上町長に受賞の喜びを報告する末永委員長(右2)

久富木地区 むらづくりで表彰

1月23日、かごしま県民交流センターで、平成18年度鹿児島県新農村振興大会が開催され、久富木地区が第7回鹿児島県むらづくりコンクール「ゆとりとやすらぎのあるむらづくり部門」で表彰されました。

今回の受賞は、農家民泊に発展した都市農村交流や農産物の販売・加工品の開発、月刊コミュニティ情報紙「久富木区新聞」による地区住民及び郷土出身者との連携など様々なむらづくりの取り組みが評価されたものです。

久富木地区むらづくり委員会の末永忍委員長は「久富木地区は素晴らしい自然環境にある。この誇れる農村環境を将来を担う子孫に残し、当地区をまると売って出していきたい」と今後の村づくりへの抱負を話されました。

1月26日は文化財防火デー
文化財を火災・震災などから守りましょう

1月26日、広瀬の県指定文化財興詮寺で防火訓練を実施しました。興詮寺本堂内陣は550年ぐらい前の木造建築で、鹿児島県の指定文化財に指定されています。

当日は裏山から出火したという想定で、訓練に参加した町教育委員会、興詮寺、町消防本部、佐志消防分団は通報から放水までの訓練を行いました。



裏山に放水をする消防署員

豊作願い 葉たばこ種まき

1月26日、柏原の薩摩地区葉たばこ育苗施設で、葉たばこ播種式が行われました。

薩摩地区葉たばこ育苗組合の母ヶ野初雄組合長は「昨年は、低温や日照不足など天候不良のため、成績が伸び悩んだが、今年は、日本たばこの求める良質で熟度の高い葉たばこを目指し、頑張りたい」とあいさつされました。

その後、耕作者や関係者は、今年の豊作を願いながら苗箱に種をまきました。

今年の栽培は、本町で39人の生産者が46・2ha計画しています。



豊作を願いながら種をまく関係者